

# 第6回 「日本語大賞」

テーマ

<sup>いま</sup> <sup>つた</sup> <sup>ことば</sup>  
「今、伝えたい言葉」



中学生の部 優秀賞 受賞作品

掌 たなごころ

宮城県

古川学園中学校

1年 畠山 妃生

掌 たなごころ

宮城県 古川学園中学校 一年

畠山 妃生（はたけやま・ひなり）

私の「今、伝えたい言葉」、それは掌です。この言葉を知ったのは、今から一年程前。あるアーティストの歌の題名となっていました。

たなごころってどんな意味なんだろうと辞典で調べると「手のひら」のこと。手のひらを「手心」とも言い、てごころからたなごころと言われるようになったと書いてありました。色々調べていくうちに、こんな素敵な言葉にも出会いました。それは、「握れば拳、開けば掌」。同じ手でも握れば人を殴る拳となり、開けば、人をなでる掌となるという意味を知りました。そういえば「手のひら」は人への思いやりや、優しさを伝える時に知らず知らずに使っているものだなあと思いました。例えば、両手に荷物をいっぱい持って大変そうな人に差しのべる手。具合が悪くなった人に差しのべる手。自分自身の頭が痛くなったり、お腹が痛くなったりした時も、自然に痛い所に手を伸ばし、さすっています。そうすると何だか楽になったような気持ちになるのです。私の母は、私や妹が眠りにつくまで、お腹や手をさすってくれます。不思議と、とても安心して眠りにつくことができます。

やっぱり手には、心が宿っているのでしょうか。日本の習慣でもある食事の前のいただきますや、食後のごちそうさまも手を合わせます。そしてお仏壇の前でも手を合わせます。これにも意味があり、食事の時に手を合わせるのは、自分の命と食材の命が合わさるという事で、仏様の前で手を合わせるの、自分と仏様が一つになる、という事なのだそうです。どちらにも手を合わせて感謝しているのだなあと思いました。三年前に起きた、東日本大震災で中学校に避難しましたが、それでも大切な家族や友の無事を願い、手を合わせている人が沢山いました。

私の兄も三日間行方がわからず四日目の朝に無事に再会できましたが、母はずっと手を合わせ、無事を祈り続けました。やっと再会できた朝。しっかりと抱きしめ、頭を撫でていたのも掌でした。私は今年中学生となり夢に向かって毎日勉強を頑張っています。私の夢は獣医師になることです。傷ついたり、病気になったりしている動物を、自分の手で救えるようになれば、どんなにか幸せだろう。例えば救うことが、出来なくても、私のこの掌で最善を尽くしてあげたい。今は、このような気持ちでいっぱいです。世の中には掌を使って人を幸せにできる事が、沢山あります。あと一歩踏み出せず、立ち止まっている人の背中をそっと押して上げるのも掌。美味しい料理を運び、差し出すのも掌。熱を出したときにそっと額に当てるのも掌。掌には、どれだけのお愛が詰まっているのでしょうか。私も、これから大人に成長していきますが、どんな時にも人には、優しく、思いやりの気持ちを忘れずに接していきたいと思っています。そんな気持ちを持ち続けていければ、私の掌も

愛情いっぱいになり、豊かな毎日を送っていけそうです。今日まで、私を支えてくれた、  
沢山の掌に感謝することも忘れずに。